



95

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年2月27日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

4月からこう変わる 育児・介護休業法 3月3日(木)＝社会保障面



男性の育休に関する複数の制度が春以降、段階的に変更されます。2021年に成立した改正育児・介護休業法が施行時期を迎え、「出生時育児休業」（男性版産休）の創設な

どが目玉です。男性に育休の取得を促すには、企業や上司からの働きかけが一つのポイントになりそうです。具体的には今年10月以降、男性は新たに出生後8週間以内

に4週間の休みを取ることができるようになります。企業側も子どもが生まれる従業員に対して育休制度の周知と取得希望の確認（今年4月施行）などが義務づけられます。

特集 ワイド

漫画「闇金ウシジマくん」作者 真鍋昌平さんがコロナ禍を斬る

3月1日(火)＝夕刊特集ワイド



新型コロナウイルス禍の長期化で生活保護申請が増え続けるなど、いま市民の暮らしが大きく揺さぶられています。漫画「闇金ウシジマくん」の作者、真鍋昌平さん(50)＝写真＝は日本のリアルな生活困窮の実態取材して作品を描いてきまし

たが、「昔と比べると、貧しい人はさらに貧しくなってるし、中間層も減っている。国力全体が落ちているように感じる」と話しています。真鍋さんにコロナ禍の世相を斬ってもらいました。



北京冬季オリンピックは20日、17日の熱戦に幕を下ろしました。選手の活躍は感動を上げた一方で、中国の新疆ウイグル自治区の人権問題などを巡る外交ボイコットなどが影を落とす

論点 北京冬季オリンピック。ピクが残したものは？

北京五輪が残したものは何でしょうか。平和の祭典はどうか、どこへ向かうのでしょうか。五輪史を専門とする中京大の来田享子教授と、現代中国論が専門の神田外語大の興柁一

3月4日(金)＝オピニオン面

郎教授にたつぷりと見解を聞きました。

【写真説明】北京オリンピック閉会式のファイナールで花火で描かれた「ONE WORLD」の文字。北京・国家体育場で2022年2月20日、貝塚太一撮影

コロナ下でも子どもの運動機能を高めるには？

3月2日(水)＝くらしナビ面



新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が急速に広がり、学級閉鎖や休園・休校など子どもたちが家にこもらざるを得ない状況が起きています。一昨年4月に出た最初の緊急事態宣言に伴う休校や外出自粛が子

どもの体力低下につながったとする研究報告もあります。コロナが流行する中でも、子どもの運動機能と体力向上にどう取り組めばいいのでしょうか。

【写真説明】スポーツトレーニングに取り組む岡山県津山市の小学生＝スポーツリズムトレーニング協会提供

毎日新聞 150 2022年2月21日 毎日新聞創刊150年

毎日新聞は2月21日に創刊150年を迎えました。それに合わせて「個を見つめ、世の中に伝え、社会をつなぐ」コミュニケーションター・カンパニーへという2030年に向けたビジョンを発表しました。長い歴史の中で培ってきたコミュニケーションの力で社会課題の解決を図り、これから先も皆様に必要とされるメディア、会社であり続けることを目指していくという意思を込めました。この「記事すこ」もその思いでつくっていますので、引き続きよろしくお願ひ致します。(古谷 亘)

